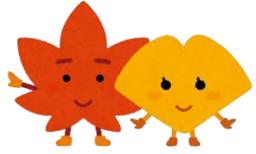
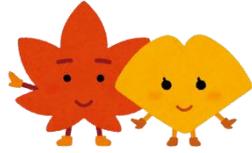


いしかり「防火」通信



秋の全道火災予防運動

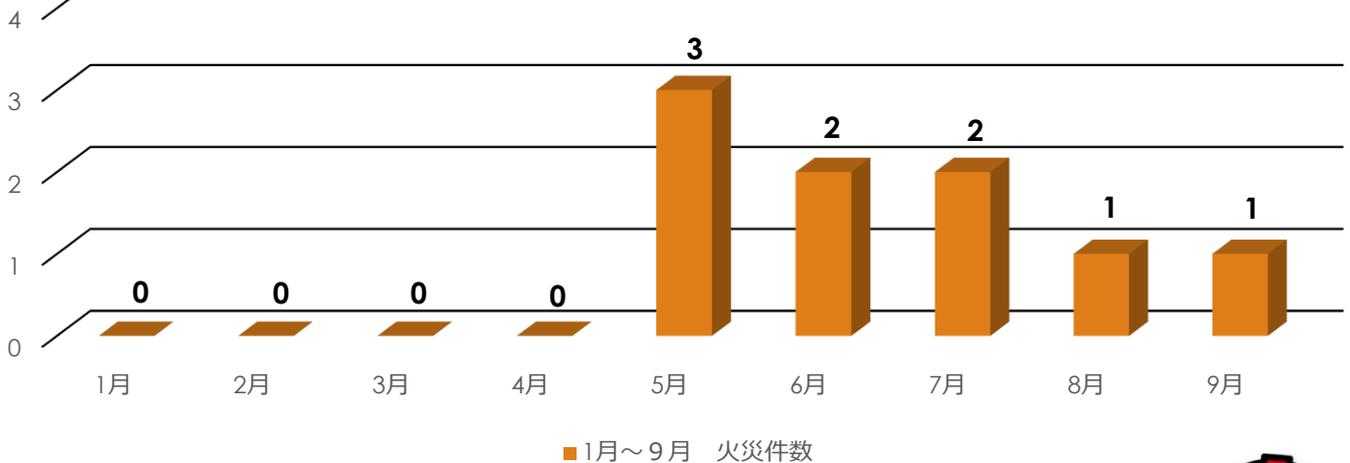


令和5年10月15日(日)～令和5年10月31日(火)までの間、**秋の火災予防運動**を実施します。気温が低くなり、ストーブなどの暖房器具を使用することが増えてくるとともに、空気が乾燥し非常に火災が起きやすい季節となります。

一人ひとりが防火意識を高め、火災を未然に防ぎましょう。



石狩市火災発生件数【1月～9月】



乾燥すると火災が起きやすい？



枯草や木材など水分を含んでいるものは火が付くまでに時間がかかりますが空気が乾燥することで、枯草や木材の水分が少ない状態になり、**火がつくのが早く、燃え広がりやすくなります。**

そのため、空気が乾燥した時期の屋外での火の使用は細心の注意が必要です。火を使用する際は**付近に燃えやすい物はないか、風が強く火種が飛ぶことはないか**といったことを十分に注意しましょう。

暖房器具使用時の注意事項

～暖房器具を使う時に守ること5選～

1 「使い始め」には暖房器具の点検をする

・保管中に溜まったほこりが原因で暖房器具から出火してしまうことや、部品の故障が原因で出火してしまうことがあるので使用前に点検や清掃をする。



2 暖房器具の上で洗濯物を乾かさない

・暖房器具の上で洗濯物を乾かすと、温風や地震などが原因で洗濯物が落下し、火災になる可能性があるので注意する。

3 燃えやすいものは近くに置かない

・暖房器具の側にあったカーテンや衣類、布団などが暖房器具に接触し、火災が発生してしまうケースがあるので注意する。



4 近くにスプレー缶を置かない

・ヘアスプレーなどのスプレー缶や引火性の溶剤を使った接着剤などは、引火や爆発の危険があるため注意する。



5 就寝時には電源を切る

・就寝中に寝返りを打ったタイミングで布団がストーブに接触し、火災が発生してしまうケースがある。就寝時や長時間その場を離れるときには電源スイッチを切り火災を未然に防ぐ。

発行：石狩消防署予防課

〒061-3211 石狩市花川北1条1丁目2番地3

Tel 0133-74-7165

Fax 0133-74-9814



ホームページ



ツイッター